

会社概要

(2022年9月30日現在)

社名 日東紡(登記名：日東紡績株式会社)
 本店所在地 福島県福島市郷野目字東1番地
 本部所在地 〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
 創業年月日 明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社(郡山)設立
 大正7年4月 福島精練製糸株式会社(福島)設立
 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
 資本金 196億円
 従業員 (連結)2,729名 (単体)783名 (2022年3月31日現在)
 ホームページ <https://www.nittobo.co.jp>

●主な営業所・工場・研究所等

大阪支店 富久山事業センター ファイバー研究開発センター
 名古屋支店 泊事業センター (福島工場内)
 福島工場 伊丹事業センター メディカル研究開発センター
 福島第2工場 (富久山事業センター内)

●連結子会社

日東グラスファイバー工業(株) パラマウント硝子工業(株)
 富士ファイバーグラス(株) ニッターポーメディカル(株)
 日東グラステックス(株) Nittobo America Inc.
 NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. ニッターピバレッジ(株)
 Baotek Industrial Materials Ltd. 日東紡アドバンテックス(株)
 (株)双洋 (株)文京精練
 (株)日東紡テクノ その他9社

●取締役

(2022年6月28日現在)

取締役 辻 裕一 社外取締役 藤重 貞慶
 取締役 西坂 豊志 社外取締役 影近 博
 取締役 五十嵐和彦 社外取締役 内藤亜雅沙
 社外取締役 中島 康晴

●執行役

(2022年6月28日現在)

代表執行役社長 辻 裕一※ 執行役 須釜 裕司
 常務執行役 多田 弘行 執行役 梶田 明正
 常務執行役 五十嵐和彦※ 執行役 梶川 浩希
 常務執行役 榮 達雄 執行役 畑中 克哉
 常務執行役 林 寿信 執行役 伊藤 正毅
 上席執行役 松永 隆延 ※は取締役兼務

●技監

(2022年6月28日現在)

上席技監 前山 茂 上席技監 畑中 英之
 上席技監 竹内 実

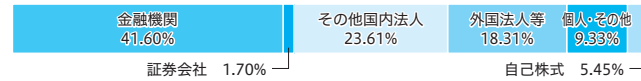
株式情報

(2022年9月30日現在)

●株式の状況

発行済株式総数 39,935,512株 株主数 9,226名

●所有者別分布状況



●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,153	13.65
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,827	7.49
住友不動産株式会社	2,383	6.31
日本生命保険相互会社	1,614	4.28
第一生命保険株式会社	1,316	3.49
住友生命保険相互会社	1,082	2.87
エア・ウォーター株式会社	997	2.64
株式会社東邦銀行	905	2.40
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	890	2.36
TAIYO FUND, L. P.	890	2.36

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
 なお、自己株式には株式給付信託に係る信託口が保有する当社株式は含まれていません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月下旬	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
公告方法	当社ウェブサイト内の下記アドレスに掲載します。 https://www.nittobo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
上場取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード3110)	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)	

※詳細は当社のホームページ(<https://www.nittobo.co.jp/>)をご参照ください。

日東紡績株式会社

東京本部
 〒102-8489
 東京都千代田区麹町二丁目4番地1

第162期
日東紡 株主通信

2022年4月1日~2022年9月30日

■株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第162期第2四半期(2022年4月1日から9月30日まで)の業績および取組みについてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、社会経済活動は徐々に戻ってきているものの、原燃料価格高騰の影響を受け緩やかな景気回復となりました。世界経済は、ロシア・ウクライナ問題の長期化、世界的な資源価格の高騰、中国の景気減速など、先行き懸念が強まりました。

こうしたなか、日東紡グループは、3年間の中期経営計画の2年目に入り、持続可能な社会実現のために、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」の3つの分野で貢献できるグローバル・ニッチ No.1を創造し続ける企業グループを目指し、計画を前進させています。

株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

■第162期第2四半期(2022年4月1日から9月30日まで)の業績

当第2四半期は、主力のスペシャルガラスの販売が堅調だったことなどにより、連結売上高は前年同期比14.5%増収の470億円、営業利益は前年同期比16.9%増益の46億円となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却による特別利益計上などにより、前年同期比3.2倍の75億円となりました。



取締役 代表執行役社長

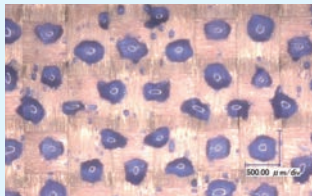
辻 裕一

ガラスクロスDOT：ドット接着技術を使用したガラスクロスを開発

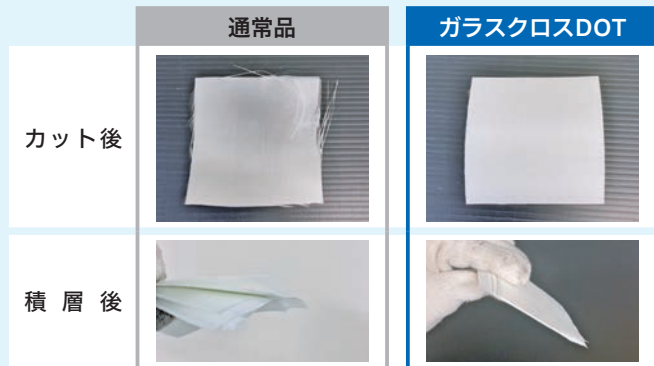
日東紡のグラスファイバー事業、繊維事業では、繊維強化プラスチック用途の複合材分野において、独自のドット接着技術を使用したガラスクロス「ガラスクロスDOT」を開発しました。「ガラスクロスDOT」は、当社が衣料品用途で蓄積してきたドット状のコーティング技術を、産業資材用途にも応用させ開発した製品です。

「ガラスクロスDOT」は、ガラスクロスにホットメルト接着剤が、ドット状にコーティングされています(写真①参照)。特徴は、ガラスクロスホットメルトで固定することにより、裁断時にほつれが出にくく繊維くずが抑えられること、また、加熱加圧して接着することができるため、積層時にずれが発生しないことです(写真②参照)。そのため、通常のガラスクロスを用いた従来の複合材料の生産方法と比較し、顧客の生産効率や、製品品質が向上されることに加え作業環境が改善されます。

さらにドットコーティング技術は、基材の特性(柔軟性、通気性、浸透性等)を損なわずに機能付与が可能になることから、今後は複合材以外にも、様々な用途への製品展開が期待されています。



写真① ガラスクロスDOT画像
(撮影のため接着剤を染色、通常は無色透明)



写真② ガラスクロスを裁断してもほつれにくく、接着積層が可能

Nittobo America Inc. : 米国ヤギ抗血清の新工場竣工

体外診断薬原料となるヤギ抗血清を生産する米国子会社 Nittobo America Inc. (NTB-A) において、2018年より建設を進めていたカリフォルニア新工場が完成しました。

NTB-Aでは米国3拠点(カリフォルニア州Murrieta、アイオワ州Boone、メイン州Portland)にてヤギ抗血清を生産しています。生産量の増加およびカリフォルニア工場の老朽化に伴い、今般、新工場の建設を行いました。新工場は将来の増産スペースを確保しており、需要を見ながら生産能力を拡大していきます。

【新工場の概要】

会社名：Nittobo America Inc.
所在地：米国カリフォルニア州Murrieta
延床面積：約45,000sqft



体外診断薬原料となるヤギ抗血清の生産工場

「日東紡グループ 統合報告書2022」を発行しました

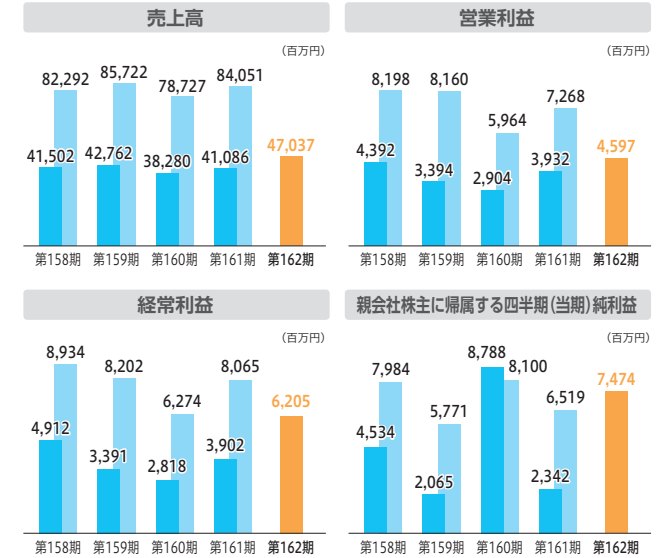
当社ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

https://www.nittobo.co.jp/ir/library/integrated_report.htm



財務ハイライト(連結)

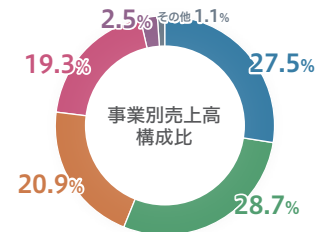
■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



事業概況

原織材事業

原織材事業では、スペシャルガラスの生産・販売が伸長、強化プラスチック用途の複合材の販売が堅調な一方、原燃料価格高騰の影響が拡大し増収減益となりました。



機能材事業

機能材事業では、高速大容量通信に資する電子材料向けスペシャルガラス・クロスの堅調な販売成長が続いたことにより、増収増益となりました。

設備材事業

設備材事業では、原燃料価格高騰による影響を受けたものの、コロナ禍で低迷していた住宅向け断熱材などの販売が回復したことにより増収増益となりました。

ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、メディカル事業で国内外とも順調な販売が継続、飲料事業で消費者の外出の機会が増えたこと等により飲料生産受託数量は堅調に推移し、増収増益となりました。

繊維事業

繊維事業では、原糸事業の販売終了により売上高は減少しましたが、衣料品の市況回復により芯地販売は好調に推移し収益に貢献しました。